

将来の

エネルギーシステムは

どうあるべきか？



Q どんな環境問題の研究をしていますか？

専門分野は、エネルギーシステム学、環境システム学です。好きな言葉として私が考えた造語の「木を見て森も見る」を目指して、一つのことを掘り下げる（木を見る）研究だけでなく、視野を広くもって考える（森も見る）研究もしています。

例えば、“森を見る”研究としては、国や自治体の温室効果ガスを減らす政策を対象に、環境・経済・技術の各要素を複合的に検討しています。具体的には、対策コストや地域の気候条件、エネルギー技術の特徴などから、将来あるべきエネルギーシステムの姿を数値シミュレーションモデルを用いて分析しています。

また、“木を見る”研究としては、アンケート調査などを用いて、家庭の省エネルギー化を推進する方策を分析する研究をしています。

Q どんな環境問題の卒業研究を指導してきましたか？

電力をはじめとするエネルギーシステムについて考える学生を中心に、指導しています。最近のテーマは、

- ・地域の太陽光発電を利用したエネルギー・ガバナンスの実現に関する研究。
 - ・発電構成の違いを考慮した価格決定方式の解析。
 - ・自治会館への再生可能エネルギーシステム設置要因に関する研究。
 - ・家庭部門における電力会社切り替え行動の障壁に関する研究。
- などです。

個々のテーマにあった研究手法（シミュレーション分析、アンケート分析など）を指導しています。

Q 学科への入学を検討されている方へ一言

学生と教員が密に議論できる少人数クラスが多く、双方向のコミュニケーションが取りやすい環境が整っています。また、自分で考えたテーマを卒業研究として取り組める点も特長の一つです。

『あなたが見つけた“問題”について一緒に考えてみませんか？』



教員 白木裕斗先生

Q 好きな言葉「木を見て森も見る」とはどういう意味ですか？

細かいところまで具体的に見るだけでなく、全体的に見ることも大切という意味です。

Q 好きな芸能人は誰ですか？

タモリとマツコ・デラックスです。知的だけど（いい意味で）変なところが好きです。